

学校運営協議会 議事録

|     |         |
|-----|---------|
| 校名  | 府立鳳高等学校 |
| 校長名 | 片山 造    |

|         |                               |
|---------|-------------------------------|
| 開催日時    | 令和7年11月27日(木) 13:00～14:00     |
| 開催場所    | 大阪府立鳳高等学校 中館1階 校長室            |
| 出席者(委員) | 山東会長, 中村委員, 納家委員, 上田委員, 岡田委員  |
| 出席者(学校) | 片山校長, 長子教頭, 増田事務長, 高坂首席, 井上首席 |
| 傍聴者     | なし                            |
| 協議資料    | 令和7年度学校経営計画の進捗状況、他2種          |
| 備考      |                               |

|  |  |
|--|--|
| 議題等(次第順)   |  |
| 1. 令和7年度学校経営計画の進捗状況について<br>2. 令和10年度以降の府立高等学校入試選抜における学校特色枠について<br>3. 協議  |  |
| 協議内容・承認事項等(意見の概要)  |  |
| 1. 令和7年度学校経営計画の進捗状況<br>ICT・発信: DXルームや3Dプリンタの活用を推進。生徒によるSNS発信も強化中。<br>組織改善: 先進校視察を通じ、授業の質向上と教員の「働き方改革(余白作り)」を模索。<br>課題: 遅刻数の増加、日常的な地域連携の不足、探究学習の質の向上が継続課題。  |  |
| 2. 令和10年度以降の入試特色枠<br>選抜方針: 定員の最大50%に「特色枠」を設定。適性検査や文化・体育活動の面接を検討。<br>探究選抜の回避: 中学生の敬遠や教員の負担を考慮し、探究活動による選抜は見送る方針。<br>魅力発信: 入試制度の一本化に向け、他校との差別化と本校の魅力をどう示すかが焦点。  |  |
| 3. 協議(主な意見)<br>○生徒のモチベーションと学校の魅力作り<br>定員割れの影響により、第一志望ではない生徒やモチベーションの低い層が増加している懸念(「入れるから入る」層の存在)。「鳳でこれがしたい」と思わせる独自の魅力や、卒業生(和泉市長等)をロールモデルとした人生設計の指導が必要。<br>○探究学習・プレゼン指導の質の向上<br>現状の探究が単なる「調べ学習」に留まっていないかという指摘。1年生からの積み上げ(探究基礎)の重要性。プレゼン指導において、生成AIの活用法や、聴衆に伝えるための技術(ジェスチャー、配色、フォント等)を教員側が適切に指導・フィードバックできる体制づくり。<br>○教職員組織の課題<br>教員間の連携不足や、単位制による加配が十分に活かされていない現状への厳しい指摘。「自称進学校」に甘んじることなく、進学実績に裏打ちされた教育の質をどう担保するか、教員の指導力向上が急務である。 |  |

|    |                     |
|----|---------------------|
| 日時 | 令和8年2月12日(木) 15:00～ |
| 会場 | 大阪府立鳳高等学校           |